

1 目 標

自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利や責任について理解するとともに、販売方法の特徴を知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができるようにすることで消費者としての自覚を高める。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

＜「法」に対する興味・関心＞

・消費者としてよりよい消費行動をとるために、消費にかかわる「契約」や法に興味・関心をもつ。

＜「法」に対する知識・理解＞

・消費行動における「契約」の意味や消費者を守るための法の意義や役割について理解する。

＜「法」に基づき社会の形成に参画する態度＞

・消費行動には、消費者として選ぶ「権利」が存在するとともに、「責任」が伴うことを理解し、適切な消費生活を送ろうとする。

3 「法」に関する教育とかかわりのある主な指導内容との関連

本題材は、中学校学習指導要領技術・家庭科〔家庭分野〕の内容「D 身近な消費生活と環境」の(1)「家庭生活と消費」との関連を図って設定している。

4 指導計画（全5時間）

時	主な学習活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
① 本時	◇「契約」の意味と役割について考える。 ・買い物をしたときに、「レシートをもらうか、もらわないか」について話し合う。 ・契約の意味について調べる。	★「レシート」の役割を通して、売側と買う側の権利と義務を考えるようにする。
②	◇消費者を守る仕組みについて調べる。 ・消費者を取り巻く問題について話し合う。 ・消費者を守るための法律や支援する機関を調べる。 ・消費者の権利と責任について話し合う。 ・消費者として気を付けることについて話し合う。	★私たちはお金を出して、物資・サービスを得る消費者であることを理解できるようにする。 ★消費にかかわる関係機関や法律の特徴について扱うようにする。 ★身近な例を挙げて消費者の権利と責任について理解できるようにする。
③	◇商品の選択、購入における情報の活用について考える。 ・生活に必要な物を物資とサービスに分ける。 ・商品を選ぶときの条件を考え発表する。 ・表示やマークの意味を知り、商品を購入するときの活用について話し合う。 ・広告から情報の提供の仕方の工夫を考え、活用の仕方について話し合う。	○消費者は物資とサービスを利用して生活していることについて理解できるようにする。 ★商品を選択するときには、商品の必要性や機能、環境への配慮、品質や保証なども考慮することの大切さを補足説明する。
④	◇販売方法の特徴を調べる。 ・各自が経験したことがある購入方法や支払い方法を話し合う。 ・販売方法や支払い方法の特徴を調べ、利点と問題点について話し合う。	○店舗販売、無店舗販売の特徴を説明する。 ○前払い（プリペイドカード等）、即時払い、後払い（ローン）などの支払い方法があることを理解できるようにする。
⑤	◇安心な消費生活を送る方法について考える。 ・消費者を取り巻く問題の事例を基に、グループごとに問題が発生した原因や解決方法を話し合う。 ・「契約」の意味や消費者の権利と責任を踏まえて、学習したことをまとめる。	★これまで学習してきたこと（クーリングオフ等）を基にして解決方法や注意点を考えるように助言する。

5 「法」に関する教育と関連がある本時の展開

(1) 本時のねらい (第1時)

消費行動における「契約」の成立の意味や消費者としての権利と責任について理解する。

(2) 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)	評価
<p>1 買い物をするとき売り手(事業者)と買い手(消費者)の間でどのようなことが行われているかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い手(消費者)は、品物の値段と消費税分の代金を売り手(事業者)に支払う。 ・売り手(事業者)は、買い手(消費者)が代金を支払った時点で品物を渡す。 ・売り手(事業者)は、品物と一緒に「レシート」を渡す。 <p>2 「レシート」に表記されている内容を調べ、「レシート」を発行する理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入した日付、時刻や品物の名前 ・購入した品物の代金 ・店のサービスなどの宣伝 ・いつ、どこで、どんな品物を、いくらで買ったのか証明するため <p>3 「レシート」をもらうか、もらわないかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レシート」があると、品物を返品するときに役に立つのでもらう。 ・お小遣い帳に記入するときに使うからもらう。 ・少額の品物の場合はもらわない。 ・もらっても役に立たないのでもらわない。 <p>4 「契約」と「約束」にかかわるクイズを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 次の事項は、「契約」と「約束」のどちらでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店で鉛筆を買った。 ・自動販売機でジュースを買った。 ・気に入った靴を見つけた。 ・欲しい帽子があったので、今度買うと店員さんと口約束をした。 ・先生が宿題を出した。 など </div> <p>5 「契約」の意味について調べ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品を購入するとき、売り手(事業者)と買い手(消費者)との間に「契約」が成立し、その際には、双方に「権利」と「責任」が生じる。 	<p>○自分の経験を振り返り、売り手(事業者)と買い手(消費者)の行為を想起するように助言する。</p> <p>○複数の「レシート」を提示して班ごとに表記されている内容を調べるようにする。</p> <p>★「レシート」は「領収書」と同様に扱われることもあり、売買取引が完了したことの証拠となり得ることを説明する。</p> <p>★クイズの答え合わせをしながら、「契約」と「約束」の違いを説明する。</p> <p>★少額の商品でも、「買うとき」「売るとき」には、必ず「契約」が行われていることを理解できるようにする。</p> <p>★契約は法律によって守られているが、買い手(消費者)にも責任があることを理解できるようにする。</p>	<p>【知識・理解】</p> <p>□契約の成立の意味や消費者としての権利と責任について理解している。 (発言、ワークシート)</p>